

情報ネット後志

NO. 12 2014年 6月
発行：後志農業改良普及センター

地域の話

平成25年度に成果の上がった活動
農業者や組織の活動紹介



夢のある後志農業を展開しましょう

所長 出雲 将之

これまで水田地帯の留萌や、畑作中心の十勝、酪農専門の根室など、道内各地を見てきましたが、水田、畑作、野菜、果樹、酪農など全ての作目が一堂に揃っている農業の宝箱のような希少な地域は、後志において他にありません。農村の高齢化や規模拡大に伴う労働力不足、農業後継者の確保など、課題はありますが、「楽しく」「儲かって」「やりがいのある」農業が展開できれば、後継者対策は自ずと解決できるものと信じています。諸問題解決のためにも、皆様方とともに知恵を出していきたいと思えます。

「ニセコ町青年会 新たな展開と後志の農業青年が連携！」

担当：本所 地域第一係

ニセコ町農業青年会は、14名の会員で毎年プロジェクト活動、そして会員が協力して栽培する農産物の販売や子供むけの農業体験などの活動を行っています。今年は、内田会長の「てき屋をやってみたい」というふとした一言から、新たな展開に向けた企画の準備が始まっています。

また後志管内の農業青年が連携して活動しているSTAFFに参加し、同じ志を持った仲間たちと活動しています。現在は、8月31日に開催する後志アグリフェスティバルで、青年農業者のパワーの発信を目指し、実行委員を中心に準備を行っています。

町内の活動に加え、後志の農業青年が連携し大規模なイベントを開催することで、様々な経験や苦労、そして達成感が今後の農業経営につながっていきます。

青年活動を通じた今後の躍進に期待が寄せられています。

第4回 後志アグリフェスティバル 開催!!

日時 8月31日(日) 10時~16時
場所 京極町 ふきだし公園 第2駐車場(湧水口側駐車場)
内容 スペシャルライブ(佐藤広大・Leo)・野菜販売
ゆるキャラ大集合・緑日・チャリティ抽選会
など



平成 25 年度に成果の上がった活動

「おうとう安定生産をめざし、地域一丸で結実確保対策を実施！！」

担当：北後志支所 地域第一係

果樹経営の柱、おうとうでの結実確保が急務！

北後志は、おうとうの全道栽培面積の約 65% を占める産地です。平成 23 年度に農業改良普及センターの声かけで「北後志の果樹を考える会」（生産者代表・町村・JA・普及センター）を開催したところ、「開花期間の天候不順によりおうとうの着果量が減少している。」「結実確保が急務。」との意見が多くでました。



北後志の果樹を考える会

実証ほで結実確保技術の効果を確認！

そこで、平成 24 年度に雨よけハウス早期被覆、防風ネット、切り枝挿し、マメコバチ放飼など追加技術を選択してもらい、10 農家 18 園地で効果を比較した結果、平均で慣行の 1.5 倍の着果量が確保できました。



結実には異品種の花粉が必要



雨よけ早期被覆と防風ネット



切り枝挿し



マメコバチ放飼

地域へ技術対策を波及！

「受粉樹導入」「マメコバチ放飼」「防風ネット設置」を 3 本柱に、補完対策は「ミツバチ放飼」「人工受粉」「切り枝挿し」とし、各生産組合と連携して技術導入を図りました。年々、地域での対策技術導入は増加しています。また、平成 25 年度は平成 24 年度と比較し 1.4 倍の着果量が確保できました。



第 3 回全国サクランボ研究大会
(2013 北海道大会) で報告

「後志の有機農業を盛り上げよう！！」

担当：本所 広域主査（情報 クリーン 有機）

後志有機農業ネットワークとは？

後志有機農業ネットワークは後志管内の有機農業者や環境保全型農業を志す皆さんが中心となって平成22年2月に設立されました。後志総合振興局、農業改良普及センターが連携して研修会を中心とする活動を行っています。平成26年2月現在、会員数は26名、内、有機JAS認定者19名です。

後志有機農業ネットワークの活動

昨年の夏季研修会では自然養鶏をベースに有機農産物の直売と農産加工に取り組む会員のほ場を訪問しました。冬季研修会では農業試験場の研究員による有機野菜の品質を高める栽培方法や土づくりについての講演会と会員同士の情報交換を行いました。

また、広報誌として「後志有機通信」を会員に配布するとともに、ホームページにも掲載しPRを行っています。

後志有機通信



研修会の様子



研修会をきっかけに直売イベントへの参加、会員相互の連携や情報交換等、自主的な活動が芽生えつつあります。会員が連携し刺激し合うなどの活動を通じて、後志の有機農業がさらに発展することが期待されます。

「北海道青年農業者会議のプロジェクト発表で「優秀賞」を受賞！」

担当：本所 地域第二係

1 共和町4Hクラブとは

共和町では、若い後継者で構成されている共和町4Hクラブが活動を行っています。

現在16名で主に学習会や交流会を中心に活動しています。また、青年農業者活動の報告の場である「後志アグリフォーラム」では、毎年プロジェクト活動の成果を発表しています。

2 プロジェクト活動「スイートコーン増収計画」

農業改良普及センターでは、毎年プロジェクトなどの活動と発表の助言・指導を行っています。昨年度は、國本耕助さんからスイートコーンの密植栽培のプロジェクトを行いたいという相談がありました。そのため、プロジェクトの内容を検討し、自分の経営に役立つ試験ということで、「スイートコーン 増収計画」というプロジェクトを行いました。

スイートコーン増収計画の概要

目的 株間を狭めて増収、播種量を減らして省力・低コスト。

内容 品種 ゆめのコーン

播種 6月13日

肥料 BBS382 : 140 kg/10a

< 結論 >

収量増収を目指す場合、2粒は種が必須条件で株間30cm栽培は可能だ！



プロジェクトの結果、上手くまとめることができた。自信を持って発表できるぞ。

3 北海道青年農業者会議で優秀賞を受賞

後志アグリフォーラムにおいて、土地利用型部門でプロジェクト発表を行いました。その結果、3組の中で、成果と発表態度が評価され、最優秀賞を受賞しました。さらに、後志代表として、北海道青年農業者会議でも発表、9組の中で、最優秀賞は逃したものの、優秀賞を受賞しました。



後志農業改良普及センター本所

住所 虻田郡倶知安町旭57-1
TEL 0136-22-1072
FAX 0136-22-4744
shiribeshi-nokai.1@pref.hokkaido.lg.jp

南後志支所

住所 寿都郡黒松内町字黒松内309
TEL 0136-72-3161
FAX 0136-72-3456
shiribeshi-nokai.minami1@pref.hokkaido.lg.jp

北後志支所

住所 余市郡余市町朝日町11番地1
TEL 0135-22-5135
FAX 0135-22-5987
shiribeshi-nokai.kita1@pref.hokkaido.lg.jp